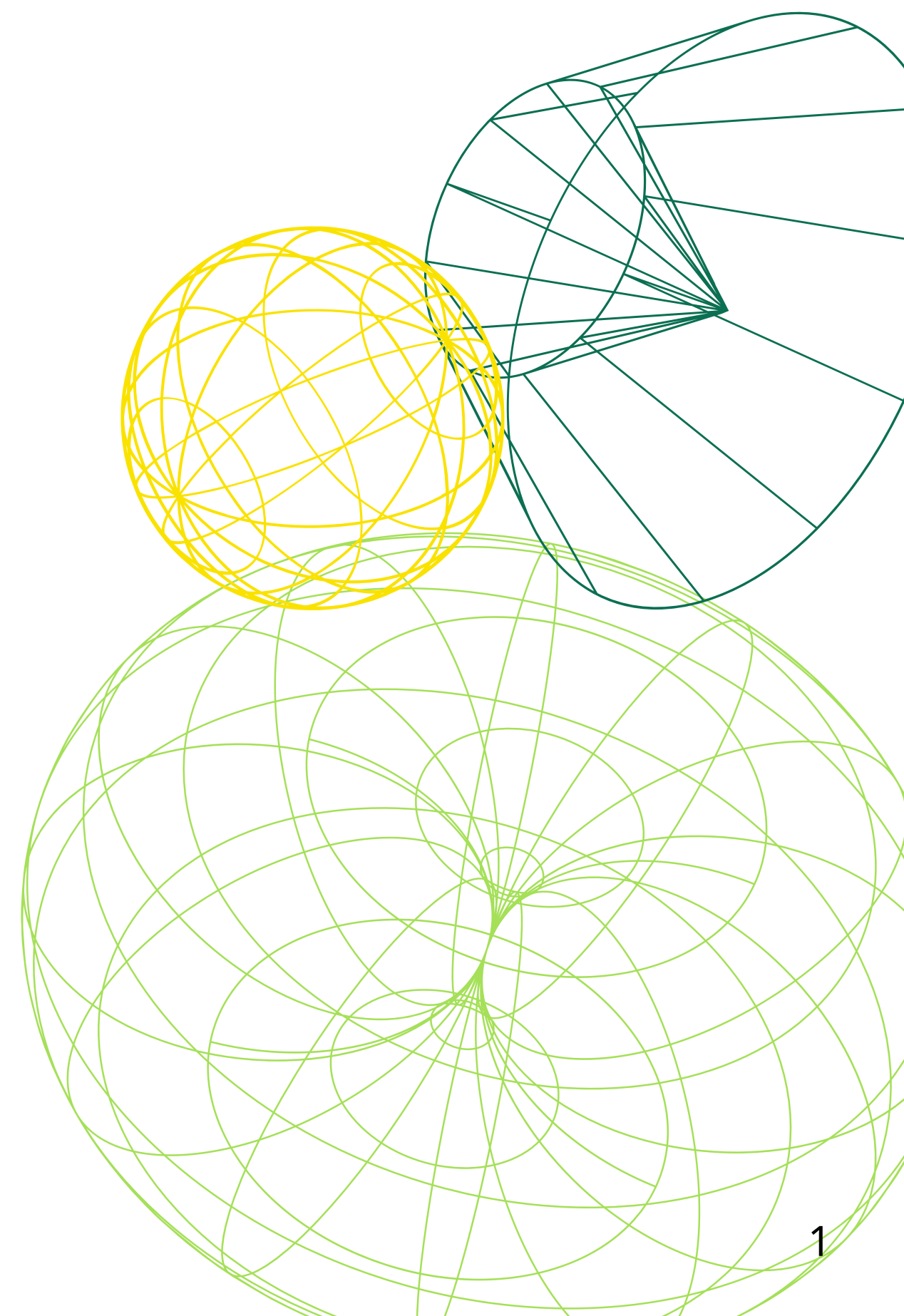


令和8年度 文京区当初予算案

令和8年1月30日



CONTENTS



01

当初予算案の概要

02

重点的に推進する施策

- ・主要課題の解決に繋がる施策
- ・区制80周年記念に関する施策

01

当初予算案の概要

※各表の予算額等は、原則として項目ごとに表示単位未満を四捨五入しており、表内計算が一致しない場合があります。
また、増減率は、千円単位の予算額により計算した数値としています。

予算編成における主な取組

「文の京」総合戦略に掲げる主要課題の解決に邁進するため、現場の視点を重視し、職員の創意と工夫により、効率的・効果的で、質の高い行政サービスを提供するための予算を編成。

次に掲げる重点的に推進すべき優先度の高い施策を、重点施策として展開。

- ✔ 主要課題の解決に繋がる施策
- ✔ 区制80周年記念に関する施策
- ✔ 持続可能な行財政運営を推進する施策
- ✔ その他、区としての重点的に推進する必要があると認められる施策

一般会計 1,604 億 8,200万円

前年度比

+9.2%

前年度 1,470億円
増減額 134億8,200万円

国民健康保険特別会計
207 億 5,800万円

前年度比

+1.1%

前年度 205億3,100万円
増減額 2億2,700万円

介護保険特別会計
176 億 8,000万円

前年度比

△2.1%

前年度 180億6,500万円
増減額 △3億8,500万円

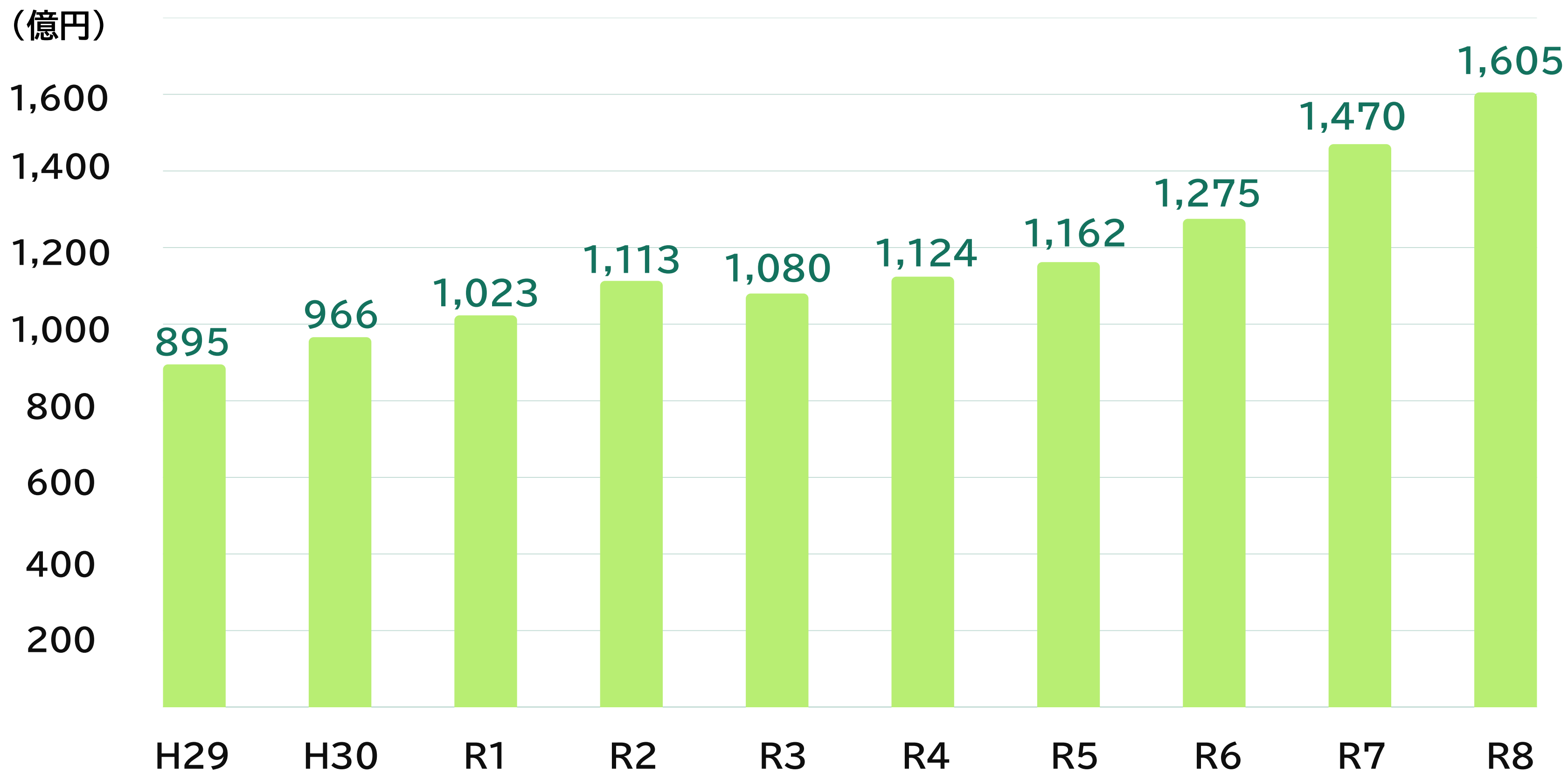
後期高齢者医療特別会計
68 億 5,400万円

前年度比

+7.4%

前年度 63億8,200万円
増減額 4億7,200万円

予算規模の推移(一般会計当初予算)



歳入(一般会計) 1,604億8,200万円

一般財源 1,003億1,100万円(62.5%)

特定財源 601億7,100万円(37.5%)

(単位:百万円、%)

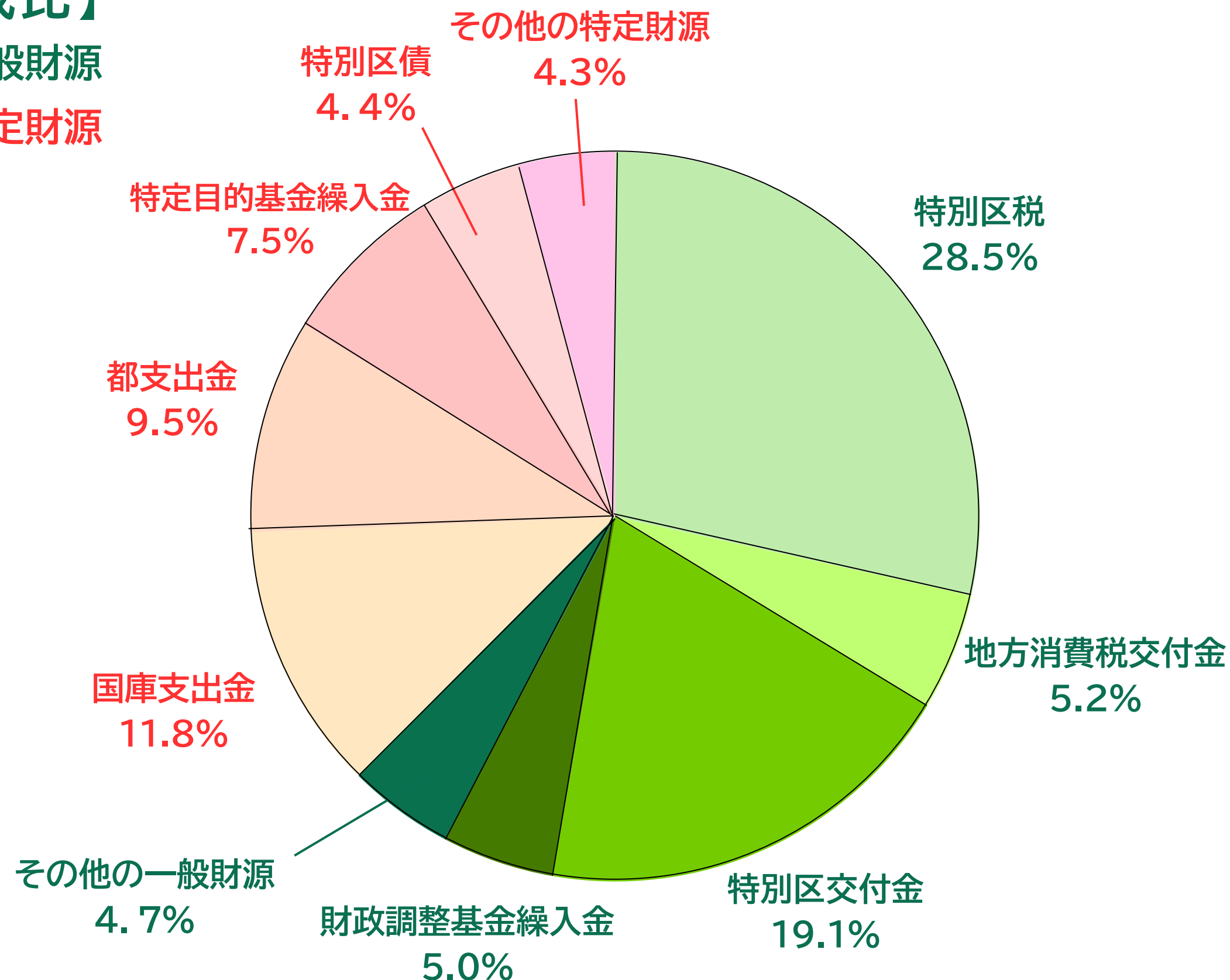
	予算額	増減額	増減率		予算額	増減額	増減率
特別区税	45,715	2,308	5.3	国庫支出金	19,009	△13	△0.1
地方消費税交付金	8,400	1,300	18.3	都支出金	15,305	1,718	12.6
特別区交付金	30,600	2,900	10.5	特別区債	7,000	1,500	27.3
財政調整基金 繰入金	8,020	420	5.5	特定目的基金 繰入金	12,018	744	6.6
その他の一般財源	7,576	2,774	57.8	その他の特定財源	6,839	△170	△2.4
合 計	100,311	9,702	10.7	合 計	60,171	3,780	6.7

歳入(一般会計)

【構成比】

●:一般財源

●:特定財源



特別区税

457億1,500万円

課税所得水準の堅調な推移及び
納税義務者数の増加等により、
前年度比5.3%増となる。

特別区交付金

306億円

普通交付金及び特別交付金とも
に増収が見込まれることから、
前年度比10.5%増となる。

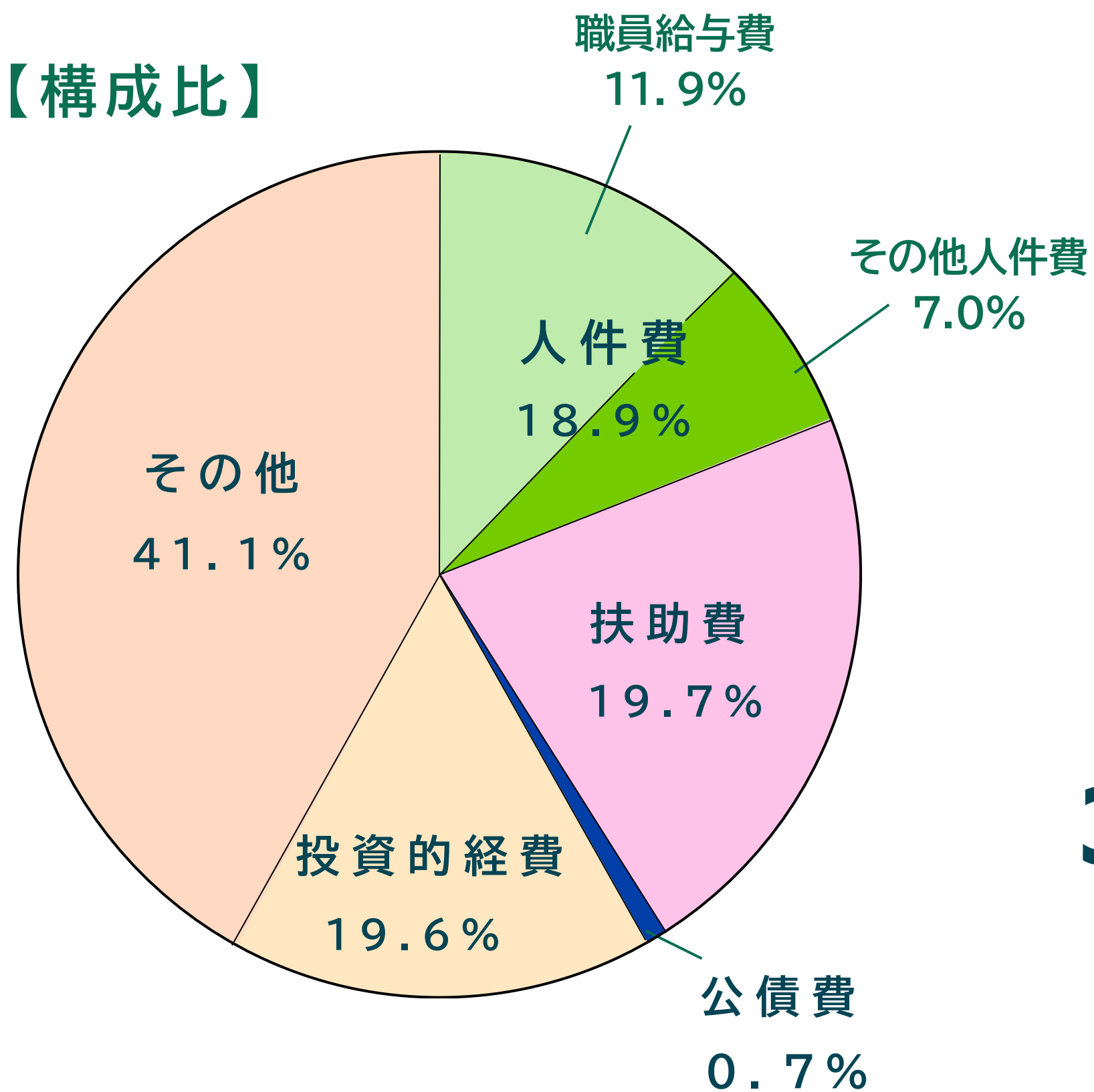
歳出(一般会計)

(単位:百万円、%)

		予算額	増減額	増減率
義務的経費	人件費	30,335	2,087	7.4
	内訳			
	職員給与費	19,053	1,172	6.6
	その他人件費	11,282	914	8.8
	扶助費	31,685	△654	△2.0
	公債費	1,091	10	1.0
投資的経費		31,475	7,804	33.0
その他		65,896	4,235	6.9
合計		160,482	13,482	9.2

歳出(一般会計)

【構成比】



人件費

303 億3,500万円

職員給与費の増等により、前年度比
7.4%増となる。

扶助費

316 億8,500円

児童手当の減等により、前年度
比2.0%減となる。

投資的経費

314 億7,500万円

柳町小学校・柳町こどもの森等の
改築、小・中学校の特別教室改修
の増等により、前年度比33.0%
増となる。

02

重点的に推進する施策

主要課題の解決に 繋がる施策



こどもの権利擁護の一層の推進

～こどもみらい☆応援パッケージ～



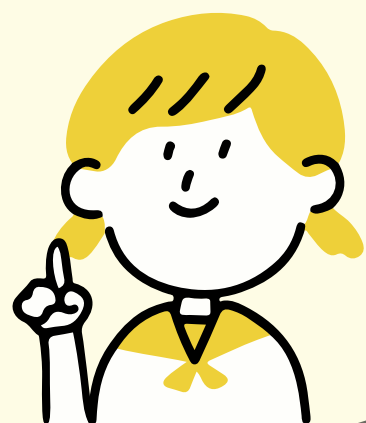
予算額

23,420千円

こどもを一人の人間として尊重し、その権利を保障するとともに、こどもの最善の利益を守る。
また、こどもの権利擁護を推進するため、こどもの権利侵害に関する相談・支援体制を強化する。

文京区こどもの権利に関する条例の周知啓発

こども本人や大人の認知度・理解度の向上を図るため、動画やパンフレット等の啓発物の作成及び啓発イベントを実施する。



区内中高生による「こどもの権利推進リーダー」の取組を継続して行い、啓発物の作成等に参画してもらいます。

文京区こどもの権利擁護委員の設置及び こどもの権利相談窓口の開設

こどもの権利侵害に対応する相談・支援体制の充実を図るため、相談窓口を開設する。



こどもの権利侵害からの適切かつ速やかな救済



こども等からの相談に対する必要な助言や支援



こどもみらいサポート拠点整備事業

～こどもみらい☆応援パッケージ～



予算額

30,155千円

学校や家庭環境に課題を抱えるこどもにとって、安心して過ごせる場所の確保は喫緊の課題であるため、関係機関と連携し、こども一人ひとりの多様なニーズに応えられる支援体制を構築する。



こどもみらいサポート拠点

こどもたちが安心して過ごすことができる「居場所」



標準型

対 象: 小学1年生から高校3年生世代まで

開所日数: 週3日

実施内容: ・学習機会の提供

・体験機会の提供

・生活支援(文房具や生理用品等の提供)

多機能型

対 象: 要保護・要支援家庭の小学4年生から高校3年生世代まで

開所日数: 平日週5日

実施内容: ・生活習慣を身につけるための支援

・学習習慣を身につけるための支援

・食事やおやつの提供

・余暇活動の提供(年中行事の体験等)

※状況に応じて送迎を実施

若者の居場所事業『Bunkyo Night Youth Lounge』

～こどもみらい☆応援パッケージ～



予算額

4,732千円

若者全数調査やオンライン若者会議等で、「居場所がない」、「同世代とつながりたい」などといった切実な声が寄せられていることを踏まえ、若者の居場所事業を実施する。



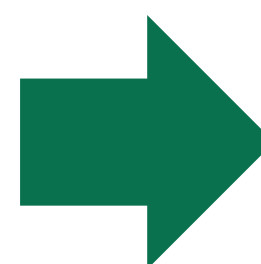
若者が自由に過ごせる非日常空間
(読書・勉強・ゲーム・飲食等)

古民家を活用し
金曜夜間実施

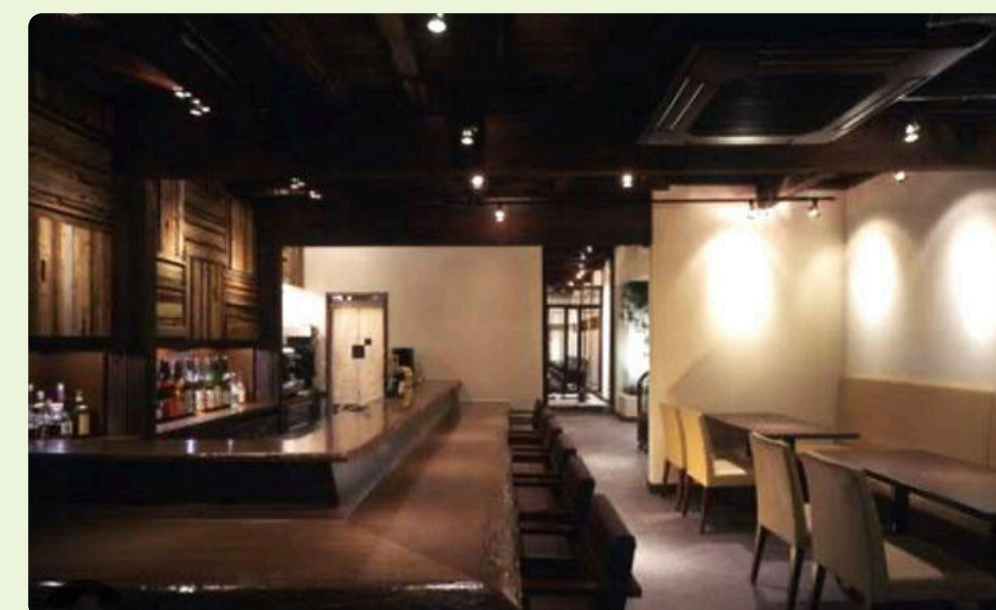
心理職等による
相談機能

交流イベント
定期開催

Wi-Fi完備
利用料無料



- ✓ 若者の自己実現の機会づくり
- ✓ 若者の充実したライフデザインの支援
- ✓ 若者の社会的自立への援助



教育費保護者負担軽減事業



予算額

358,350千円

教育に係る費用負担が増大していることから、入学準備金を支給することで、多額の費用が発生する入学準備時の保護者負担を軽減する。

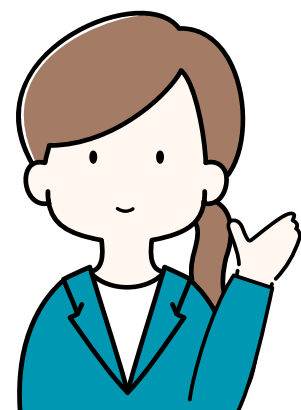
対象

12月1日時点で住民登録があり、翌年4月に小・中学校（※）に入学する児童・生徒の保護者

※区立・国立・都立・私立・特別支援学校等

金額(1人当たり)

小学生5万円／中学生10万円



区立以外に進学する
児童・生徒の保護者も対象



5歳児健康診査



予算額

28,248千円

子どもの個々の発達特性に早期に気づき、就学前の適切な支援につなげるため、5歳児を対象にアンケート調査を実施の上、必要のある児童等に対し、集団健診を実施する。

STEP
1

保護者・支援者(所属園教諭等)にアンケート
✓ 対象:実施年度に満5歳になる幼児



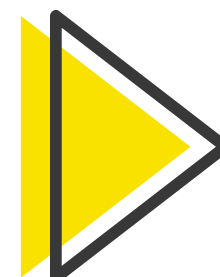
STEP
2

支援が必要と考えられる児を対象に集団
健診を実施



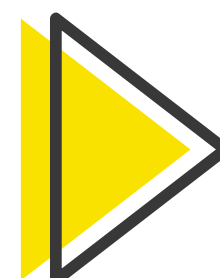
STEP
3

医療機関、教育・保育施設と情報を共有し、
関係機関と連携して継続的に支援



発達の特徴を把握

児童の健やかな就学・
社会生活への支援



家庭や保育・教育現場
との連携強化



眼科検診

～早期発見・治療のために～



予算額

51,359千円

国内失明原因1位の緑内障など、自覚症状なく進行する眼科疾病の早期発見を目的とした眼科検診を実施。眼の健康維持を図り、定期的な専門医受診習慣と主体的な健康管理意識を醸成する。

発症リスクは40歳から↑

- 検査対象: 40歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳
- 対象者数: 約20,000人
- 検査項目: 屈折検査・眼圧検査・眼底検査 など



眼科疾病のリスクの高まる40歳から眼科受診への意識付けができる

自覚症状がなく進行する眼科疾病を早期に発見し、治療につなげることができる

認知症・転倒のリスク因子をなくすとともに、生活の維持向上を図る

民有地の取得



予算額(2事業合計)

1,787,036千円

区立保育園改築時の代替園舎や、区内介護施設の改築等における一時移転先として活用するため、民有地を取得する。

根津二丁目民有地

- ✓ 敷地面積: 375.73㎡
- ✓ 活用用途: 区立藍染保育園改築時の仮園舎として活用し、その後は老朽化が進んでいる他の区立保育園の改築等で活用予定



大塚四丁目民有地 (令和7年度に購入した東邦音楽大学敷地の隣接地)

- ✓ 敷地面積: 739.37㎡
- ✓ 活用用途: 本敷地の旧有料老人ホームの建物も含め取得し、内装改修等を行ったうえで、区内介護施設の改築等における一時移転先として活用

参考

【令和7年度予算】

区立小中学校の老朽化が進む中、学校改築等に活用可能な仮校舎を整備することを目的として、令和7年6月に大塚四丁目の東邦音楽大学の敷地を取得。本敷地に仮校舎を建設し、複数の区立小中学校の改築等に活用することで、学校運営に与える影響を抑え、工期の短縮を図る。



画像 ©2026 Airbus, CNES / Airbus, Maxar Technologies, 地図データ ©2026

敷地面積:約6,400平方メートル

所在地:大塚4-46-9

取得費用:約140億円

3D書架ブラウジングサービス

～図書館のICT化推進～



予算額

25,146千円

全館の蔵書図書の背表紙を撮影し、Web上に「3D書架」を構築することで、実際の本棚をブラウジングするように、偶然の出会いを創出し、時間や場所に縛られない新たな図書館利用サービスを提供する。

現状

指定した条件に合致した結果のみ表示される



3D書架

背表紙画像を3,000冊程度ずつ、実際の本棚のように並べる



公立図書館に実装されるのは全国初



シビックセンター受取サービス

～図書館のICT化推進～



予算額

2,640千円

後楽園・春日駅直結のシビックセンター1階に、予約した本をいつでも受け取れる『受取ボックス』を設置。これにより、通勤・通学者や区役所利用者は、朝7時30分から夜10時までの受取が可能となる。

Web上で本を予約



本がボックスに届く



本を受け取る



小学生及び中高生世代向け電子書籍サービス ～図書館のICT化推進～



予算額

7,527千円

小学生及び中高生世代を対象に、区立図書館の電子書籍用のID及びパスワードを配布。子どもたちがタブレット端末等を活用し、いつでもどこでも本に触れることができる環境を整備し、読書機会を確保する。

✓ 本の配架スペースを必要としないため、物理的な制約を受けずに蔵書を拡充することができる

✓ 同じ本を、何人でも同時に読むことができる

読書機会の確保

多様な興味に対応



公園・児童遊園の暑さ対策事業



予算額

265,346千円

地球温暖化やヒートアイランド現象が進む中、公園・児童遊園における木陰の確保や簡易ミストの設置を進めることで、暑熱環境を改善し、利用者の安全性・快適性の向上を図る。

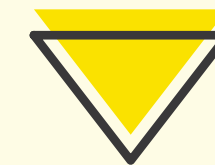
公園・児童遊園の樹木剪定頻度の見直し

3年に1回 → 樹木の状況に合わせて

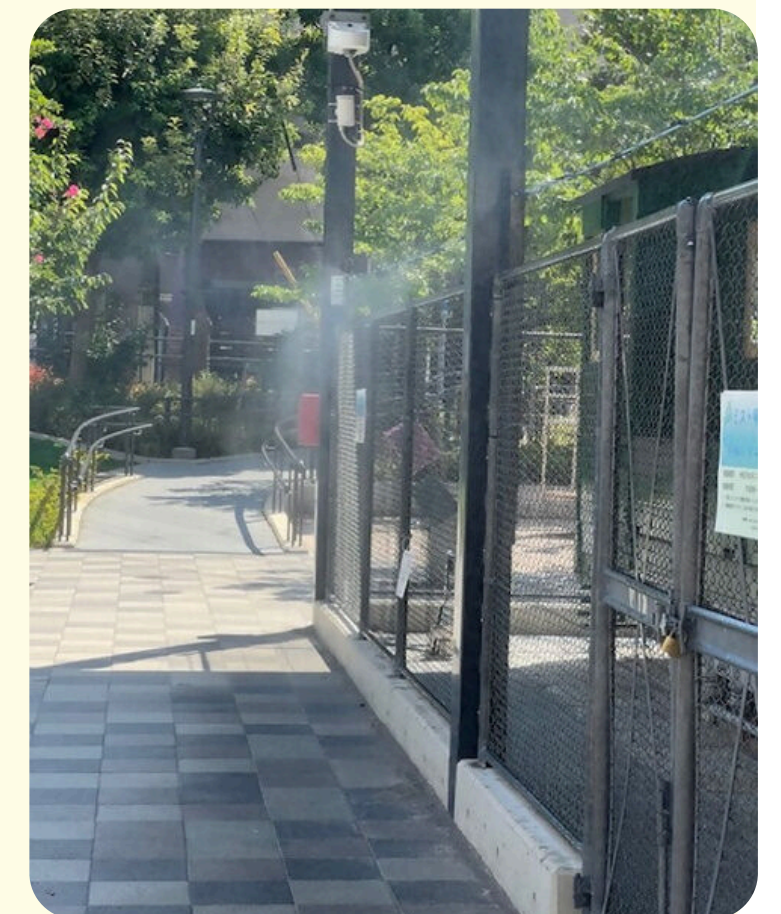
木陰のある快適な空間を確保するとともに、樹木の健全な成育と良好な景観を形成する。

公園・児童遊園への簡易ミストの設置

パーゴラやフェンス、樹木に張ったワイヤーに簡易ミストを設置



涼しい空間を創出



人×AI 災害情報収集・分析高度化プロジェクト

災害時におけるトイレ対策の充実



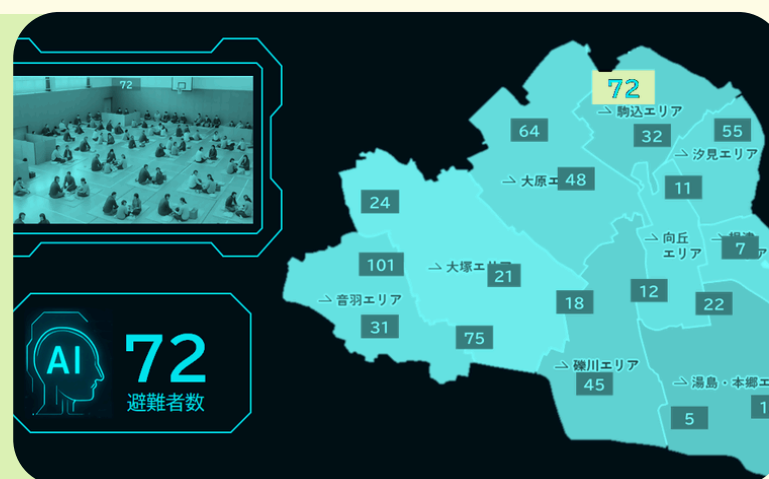
予算額(2事業合計)

56,734千円

画像解析AIシステムを活用し、災害情報の収集・分析を効率的かつ確実に行うことで、災害対策本部の対応力強化を図る。また、「東京トイレ防災マスタープラン」に基づき、計画的な災害用トイレの整備を進める。

画像解析AIで初動対応を早く、正確に

災害情報システムに届いた画像をAIが解析し、滞留者数を推定。災害対策本部の初動対応をサポートする。



衛星通信で“途絶えない連絡体制”を確保

地域活動センターに、衛星ブロードバンド機器を配備し、地上通信が途絶した際も、災害対策本部との通信を確保する。

トイレ対策の充実

(仮)災害時トイレ確保・管理計画の策定

避難所外避難者に対する携帯トイレの備蓄



トイレの利用控えによる健康被害を防ぐとともに、災害用トイレの空白エリア解消を図ります。

住宅用宅配ボックスの設置費助成



予算額

7,000千円

多様化するライフスタイルとともに電子商取引(EC)が急速に拡大する中、宅配便の再配達によるCO2排出量を削減するため、新築及び既存住宅への住宅用宅配ボックスの設置費用助成を実施する。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減を目的とした「文京区新エネルギー・省エネルギー設備設置費用助成」のメニューに、「住宅用宅配ボックス」を新設する。

助成対象者

- ✓ 個人又は集合住宅の管理組合

助成金額

- ✓ (本体購入費一戸等の補助金) × 2/3

上限金額

- ✓ 戸建用 = 10万円 / 集合住宅用 = 20万円



ショート動画による安全な 自転車利用啓発事業



予算額

9,739千円

区内では、近年、自転車利用者の交通事故死傷者数が増加傾向にあり、特に10代後半～60代前半の年代の増加が顕著である。自転車の安全利用及び歩行者の安全を確保するため、これらの年代への効果的な啓発を行う。



啓発動画の制作

区の特性や危険な利用実態を踏まえたオリジナリティある啓発動画を制作し、YouTubeで公開

- ✓ 区内の変則的な交差点での通行方法
- ✓ 区内で見られる交通ルール違反の形態
- ✓ ヘルメット着用率を上げるための啓発 等



スキマ時間に手軽に学べるショート動画を制作し、区内の交通安全を推進します。

区制80周年記念に関する施策



区制80周年記念事業（一部抜粋）

当区は、令和9年3月15日に区制80周年の節目を迎える。これまでの歩みと発展を基に、区民と共に新たな未来を創造すべく、多岐にわたる記念事業を企画・実施する。

- 区制80周年記念式典
- 文京シビックホール名誉館長特別公演
- 町会・自治会物品整備支援事業
- スポーツによる自治体交流
- 肥後細川庭園 池のかいぼり事業
- 文京区都市交流フェスタ2027
～文京区×交流自治体連携プロジェクト～
- 文京花の五大まつり等助成
- 景観まち歩き普及啓発イベント
- 80th&50thアニバーサリー記念感謝祭
～真砂中央図書館開設50周年コラボイベント～

文京区都市交流フェスタ2027

～文京区×交流自治体連携プロジェクト～



予算額

33,703千円

文京区と国内外交流都市との交流の認知度向上と住民交流の促進を図るため、区との歴史的・文化的つながりや魅力を発信するとともに、区民自らが発信者となるSNS等を活用し、幅広い世代にアプローチする。

NEW



文京区×交流都市ハッシュタグキャンペーン

- ✓ 文京区と交流都市のつながりを広く周知
- ✓ 区民等が発見したできごとを写真で投稿
- ✓ 交流都市の特産品等を賞品とし、都市交流フェスタで表彰する。



交流都市との連携をパワーアップ

- ✓ 交流都市ゆかりのブース出展
- ✓ ご当地キャラクターによる自治体PR拡充

礪川公園のライトアップの充実化

- ✓ ライトアップ等による礪川公園イベントの拡充



スポーツによる自治体交流



予算額

5,027千円

区内スポーツ資源を生かし、交流自治体との住民レベルの交流を促進していくことにより、地域を活性化し、自治体間の関係を一層強化していく。

文京区×盛岡市×うるま市 東京ドーム少年軟式野球交流会

各自治体の代表チームでの総当たり戦を行う。
試合後、参加者・保護者・指導者・自治体職員による交流会を実施。

文京区×石岡市 スポーツ交流会

文京区と石岡市、それぞれの会場で複数種目でのスポーツ交流を図る。
種目：野球・サッカー・バスケットボール・剣道



地域スポーツ
の活性化

新たな交流の
創出

住民レベルの
交流促進



町会・自治会物品整備支援事業 文京花の五大まつり等助成



予算額(2事業合計)

51,820千円



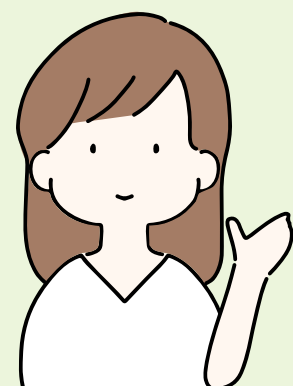
町会・自治会が担う地域活動の基盤整備を後押しするとともに、文京区を代表するまつりの実行支援を通して、地域コミュニティの活性化と、地域行事の魅力向上を一体的に推進していく。

町会・自治会物品整備支援事業

各種イベントや防犯・防災活動等に活用できる物品の購入・整備費を補助する。

対象経費(例)

祭事用テント、発電機、町会掲示板、町会・自治会ユニフォーム 等



地域の特性や課題に即した
支援

花の五大まつり等助成

まつりの各実行委員会に対し、区制80周年を記念する取組の実施における補助金を交付する。



対象経費(例)

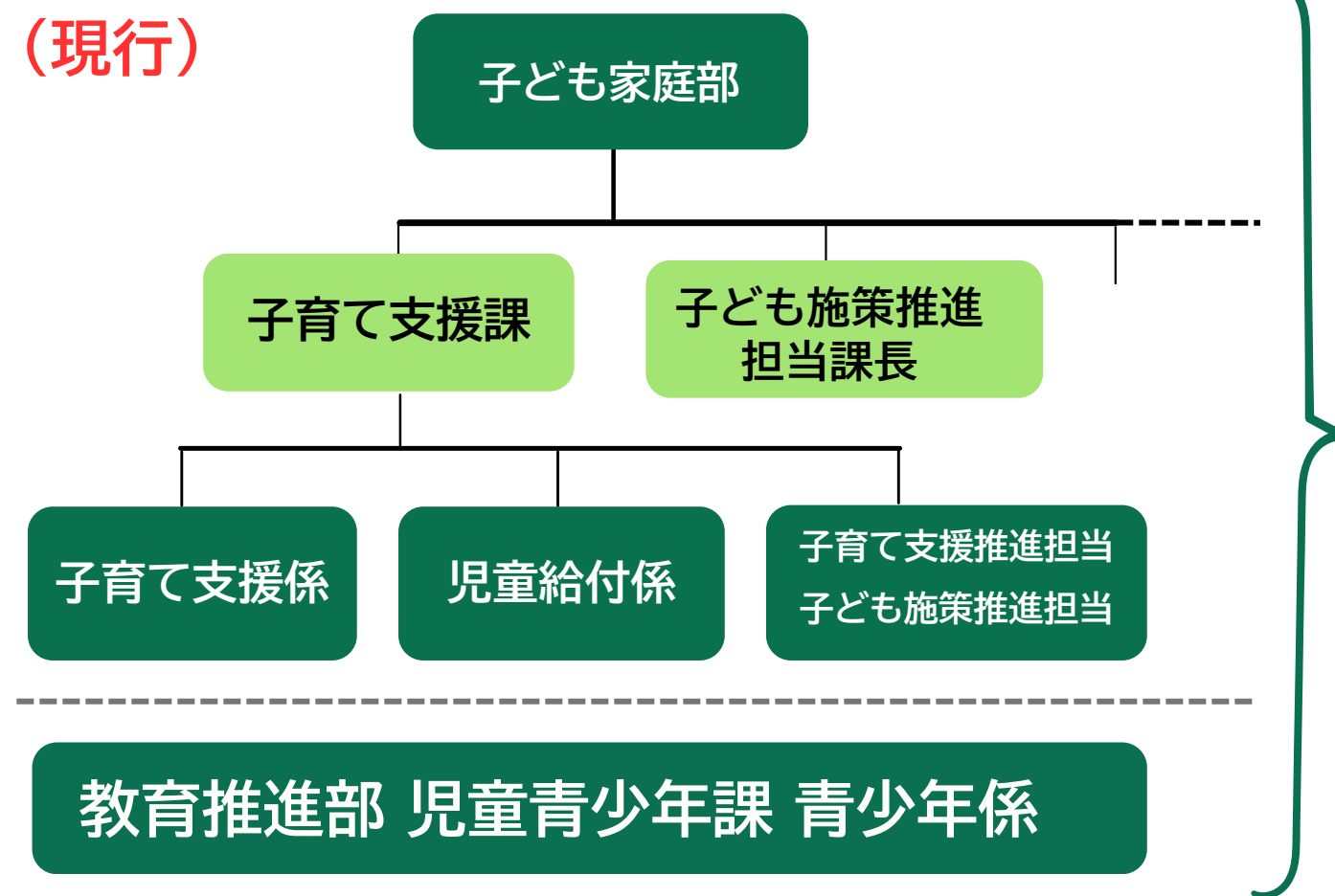
記念イベント実施費
記念プレゼント制作費
花の記念植樹等に係る経費

組織改正

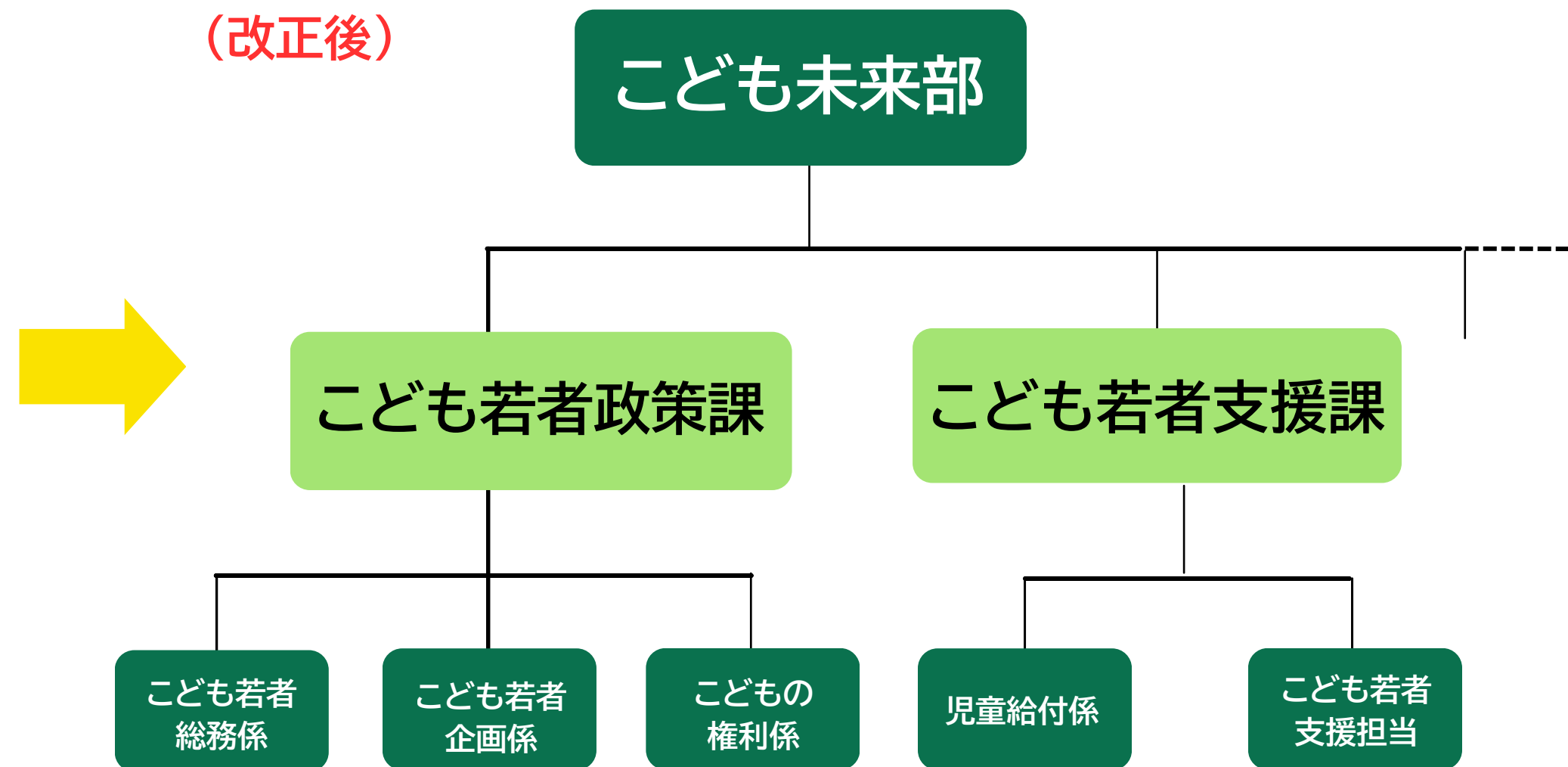
1. こども部門

こども若者施策をより一層推進し、こどもから若者まで切れ目のない支援体制を構築するため、こども部門組織を再編。

(現行)



(改正後)



2. その他

教育推進部学務課を、「学校運営課」及び「学校施設課」の2課に再編。

